

(別紙) 御質問への回答

質問	回答
<p>総括ではトレーニング方法や選考プロセスといった現場レベルの課題が指摘されていましたが、それ以前に、日本代表チームを支える環境整備についてどのように考えておられるのでしょうか。</p> <p>国際大会で勝つことを目指すのであれば、日本においても国内トップレベルの選手が長期間にわたりフルタイムで活動できる環境の整備が不可欠です。</p>	<p>ご意見、ありがとうございます。現状、協会の統一的な見解として回答することが困難なため、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>ご指摘も踏まえ、引き続き協会として日本代表チームを支える環境整備に取り組んでまいります。</p>
<p>諸外国では、助成金に加えて超富裕層や財団などからの大型寄附を活用するケースが見られますが、日本でもそのような資金調達の働きかけは行われているのでしょうか？</p>	<p>当協会では、総務委員会内にマーケティング部会を設置し、外部資金の獲得に取り組んでいるところです。(2024年度実績 35件)</p>
<p>1. 日本ローイング協会の「理念」は何でしょうか？</p>	<p>日本ボート協会 2020 ビジョンをご確認ください。 https://www.jara.or.jp/info/2021/vision2020.pdf</p>
<p>2. 「持続可能な国際競技力向上体制」とは、具体的にどのような仕組みでしょうか？</p>	<p>当協会が認識している課題については、今後、強化戦略計画の策定において議論することを予定しています。</p>
<p>3. 「限りある財源を計画的に執行する」ために、具体的にどのような取り組みが必要でしょうか？</p>	<p>当協会が認識している課題については、今後、強化戦略計画の策定において議論することを予定しています。</p>
<p>4. 「2024年度強化推進体制」(JARA 発番第 2024-089 号、2024年6月19日発行) について：</p> <p>1) 専任の有給スタッフは配置されていますか？</p> <p>2) 配置されている場合、その給与はどのように賄われていますか？</p> <p>3) また、この体制にパラリンピックのスタッフが含まれていないのはなぜでしょうか？</p>	<p>1) JOC が実施するコーチ設置事業(競技力向上事業助成金)に基づき、専任コーチおよび専任スタッフを配置しています。 https://www.joc.or.jp/training/goldplan/gold/coach20250201.pdf</p> <p>2) 専任コーチや専任スタッフへの報酬(謝金)は、総括5頁に記載の通り、各事業助成金(JOC コーチ設置事業やスポーツ振興くじ)およびNF 自己財源から支給しています。</p> <p>3) パラリンピック競技の強化活動は、パラローイング委員会にて取り組んでいます。ご指摘を踏まえ、オリンピック競技とパラリンピック競技の一体的な体制整備についても検討してまいります。</p>